

II) 実施概要

航次	調査年月日	船名	測点数	調査員	備考
1	S 49 5. 8 ~ 5. 10	國南丸	12	喜屋武	補助点11点
2	S 49 7. 23 ~ 7. 26	"	"	喜屋武、吉川	" "
3	S 49 10. 15 ~ 10. 18	"	"	友利	" "
4	S 49 12. 9 ~ 12. 12	"	11	友利、金城	" 9点
5	S 50 3. 6 ~ 3. 8	"	12	喜屋武、吉川	" 11点

(3) 沿岸定線調査(2定線)定線名 沖縄南部海域沿岸定線、金武湾沿岸定線

(4) 実施調査船

船名 くろしお 船長名 比嘉幸一 乗組員数 総員7名

調査船項目

電数 2144 屯

馬力 100PS

機関の種類 ヤンマーディーゼル6LD-FE 補機ヤンマーSL15、13.5PS

速力 8ノット

測深機 型式TS〇〇型 馬力0.75kW ワイヤー長500m

音響測深機型式 光電SR660TYPE 12pkipper 周波数28KC 200KC

(a) 観測定線

第1図のとうり

(b) 調査項目

a) 水温塩分の各層観測 0、10、20、30、50、75、100、150、200m層

b) 一般気象海象の観測

c) 底形調査 沖縄南部海域沿岸定線ST. 1、3、5、7、9、10の6定点

金武湾沿岸定線ST. 2、3、5、7、8の5定点

椎魚ネット中の表層曳(約2ノットで5分間曳)

◎ネット(口径45cm)50m→0mの鉛直曳

d) 魚群生体調査 魚群探知機による調査

e) その他 沖合定線に準ずる